

認知症とは？

1 様々な疾患によって引き起こる状態をいいます！

「認知症」とは病名ではなく、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、生活する上で支障が出てくる **状態** をいいます。

認知症になると、もの忘れが出たり、時・場所・季節の感覚がわからなくなったりします。また、認知症は、高齢期だけの病気ではなく、誰もが発症する可能性があります。



健康な脳



脳の神経細胞が死んで萎縮する
「変性疾患」による認知症の脳

- アルツハイマー病
- 前頭・側頭型認知症
- レビー小体病 など



脳の血管が詰まって一部の細胞が死ぬ「脳血管性認知症」による認知症の脳

- 脳梗塞 ○くも膜下出血
- 脳出血 ○脳動脈硬化 など

2 「中核症状」と「行動・心理症状」があります。

「中核症状」は脳の機能低下による症状で、記憶障害、理解・判断力の低下などが見られます。

「行動・心理症状」は身体状況や性格、環境などによって二次的に出てくる症状で、うつ状態、不潔行為などが見られます。

「行動・心理症状」は、環境の調整、周囲の人の理解、適切な対応などで、改善することが多くあります。

対応の心得

“3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がない
- 3 自尊心を傷つけない

不安
焦燥

徘徊

興奮
暴力

せん妄

中核症状

記憶障害

見当識障害

理解・判断力の障害

実行機能障害

その他

行動・心理症状 (BPSD)

うつ
状態

幻覚
妄想

不潔
行為

3

「もの忘れ」と「認知症の記憶障害」は違います！

もの忘れ

認知症の記憶障害

目の前の人の名前が思い出せない

目の前の人が誰なのかわからない

物を置いた場所を思い出せない

置き忘れ・紛失が頻繁になる

何を食べたか思い出せない

食べたことを忘れている

約束をうっかり忘れてしまった

約束したことを忘れている

曜日や日付を間違えることがある

月や季節を間違えることがある

4

治る病気や一時的な症状の場合があります！

認知症状が出てくる病気は、およそ **70種類** あると言われています。脱水症状や薬物の影響、事故で脳を損傷することなどによって生じている場合は、原因を治療することによって改善したり、治ることもあります。

どんな疾患によって症状が出ているのか、症状が進行しないうちに専門医療機関で検査して、適切な治療を行うことが必要です。

認知症の相談窓口は？

認知症が気になったら、すぐに相談しましょう！認知症であっても早期発見・早期治療により自分らしく暮らすことができます。

医療の相談 … **オレンジドクター** **認知症疾患医療センター**

介護の相談 … **地域包括支援センター** **広島県介護予防研修相談センター**

認知症の人と家族の会広島県支部 **オレンジアドバイザー**

広島県のホームページで紹介しています (<http://pref.hiroshima.lg.jp/>)
 トップページ ⇒ 健康・福祉 ⇒ 認知症・虐待防止対策 ⇒ 認知症対策

【問い合わせ】 広島県 健康福祉局 地域共生社会推進課

電話(082)513-3201 FAX(082)502-8744 電子メール fukyousei@pref.hiroshima.lg.jp